

(コナミスポーツクラブの包括的CM業務)

・事例の所在地	全国各地
・発注者	株式会社コナミスポーツ&ライフ
・応募者	日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社
・業務期間	2003年3月から継続して包括業務を現在も進行中

【プロジェクトの概要】（書式3の情報）

コナミグループは2001年に健康サービス事業に参入され、その事業会社であるコナミスポーツ&ライフ様は、2003年全国に約200施設展開する直営施設のイメージの統一化を企図された。また、全国に新たな多店舗展開をすると共に、既存施設の継続的な新陳代謝を行うことも必要となり、これら施設開発を効率的に行うため、一連の業務の仕組みづくりや品質・コストの適切なコントロールを行うため、これらの業務を外部に委託された。

受託者である日建設計コンストラクション・マネジメント(*1)は、これらのニーズに応えるべく、総合的なマネジメントサービスとして一連の業務を提案し、10年以上の長きに亘り継続的にコナミスポーツ&ライフ様の支援を行い、現在もその支援を継続させて頂いている。（*1:当初は株式会社日建設計にて受託）











































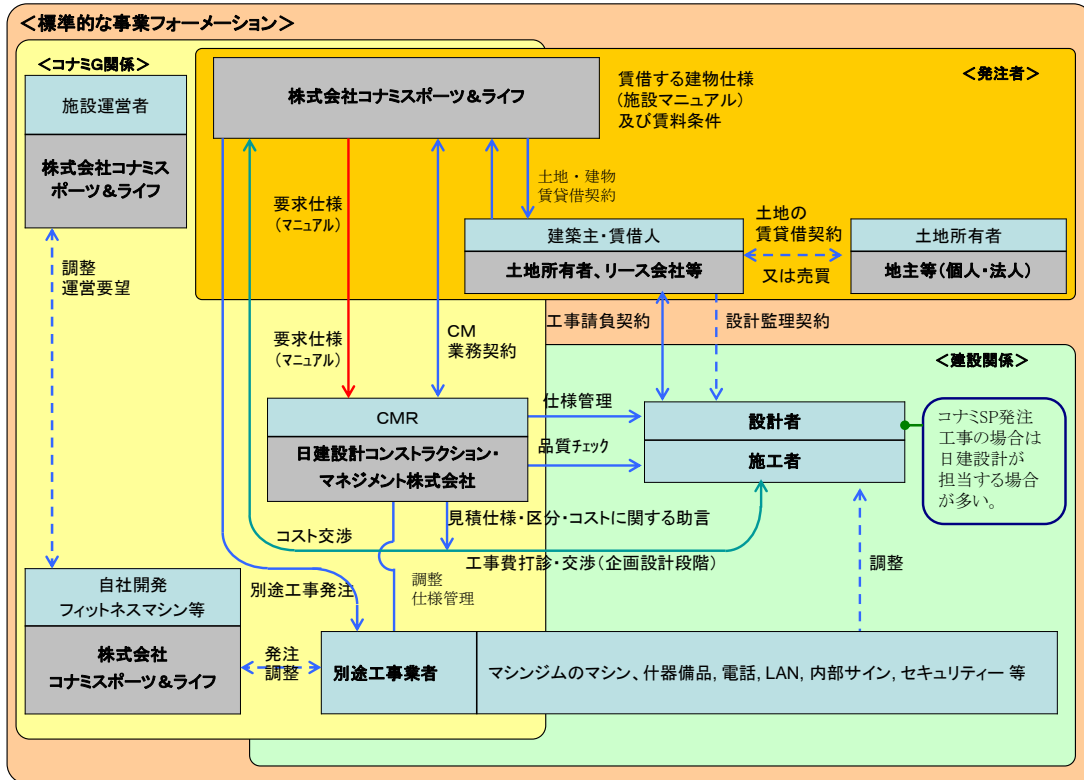




(コナミスポーツクラブの包括的CM業務)

【プロジェクトの取り組み体制】(書式4の情報)

■標準的な事業フォーメーション



■プロジェクトの推進体制

1. 施設の仕様検討会議の開催
2. 施設マニュアルの継続的な改訂(3ヶ月に1度)
3. コスト算出ツールの更新
4. ウィークリーレポートの作成と報告
5. CM業務報告書の提出

【プロジェクト目標と達成度】(書式5の情報)

1. イメージの統一、ブランディング

インフォメーションデザインの検討・同マニュアル策定を行い、統一された建物イメージと企業ブランドの確立が実現。

2. 建物の品質の確保と統一化

施設マニュアル策定およびマニュアルの継続的な改定を行うことで、高品質な建物を統一された形で実現できた。

3. 適切なコストコントロール

コスト算出ツールの開発により、初期段階での的確なコスト把握と事業性の確保が実現できた。

4. 組織的でスピーディーな施設開発の推進

新規プロジェクトの総合マネジメント業務(計46棟)を行い、多くのプロジェクトを組織的に推進し実現できた。

5. 施設に関わるリスクの最小化

施設の維持管理マニュアルを分かりやすく策定し、運営スタッフの意識向上と良質な建物管理に寄与できた。

6. 建物の維持管理の適正化

維持管理マニュアル策定のほか、全国既存施設の安全性点検を行い状況把握しトラブルの未然回避ができた。

【建設生産システムへの関与】(書式6の情報)

1. インフォメーションデザイン検討・
同マニュアル策定

2. 施設マニュアル策定、及び
マニュアルの継続的な改定

3. コスト算出ツールの開発

4. 既存施設の安全性点検

5. 施設の維持管理マニュアルの策定

6. 新規プロジェクトのコンストラクション・
マネジメント業務(計46棟)